

Model Course 15

ながれだに いわわきじ あまみふどう
流谷から岩湧寺・天見不動

【葛城第十五経塚(岩湧山)】
【葛城第十六経塚(流谷金剛童子)】
【葛城第十七経塚(天見不動)】

里にある経塚から山上の経塚へ
岩湧山周辺の3つの経塚をめぐる

和泉山脈の名峰、岩湧山は、スキの広がる高原状の山頂で知られる。しかし、その名は読んで字のごとく、岩が湧き出るように峻険であることが由来で、修験の地として栄えた岩湧寺周辺の様子を表している。

天見駅から西へ、国道を出合ノ辻で横切り、流谷の集落へと入っていく。川向かいに古社の八幡神社があるが、神事に使われた南北朝時代の湯釜が伝わっている。下山に使う砥石谷を左に見て、緩やかに登っていくと、葛城第十六経塚流谷金剛童子の道標があるので、川を横断し、畑の道を通って竹藪の中の経塚を訪れる。

ここから行司河原分岐までは、竹ノタワと呼ばれる峠を越え、カタツリトンネルを抜ける長い道路歩きだ。行司河原分岐からは南に進路をとり、岩湧寺のある「岩湧の森」を目指す。いくつか駐車場を見送り、第2駐車場を過ぎると岩湧登山古道の入口があるので、入っていく。すぐに右の「おちばの小道」に入って四季彩館を経由して、岩湧寺へ。第十五経塚は岩湧寺の先の道路をたどってゆく。坂を上ったカーブで右手に案内表示があるので入っていくと小ピークの先に経塚がある。

少し戻ってハイキングコースの「いわわきの道」へ。いわわきの道は展望所を経て五ツ辻の手前でダイヤモンドトレールと合流するので、紀見峠の表示を目指して進む。しばらく平坦路だが、下りになると三合目に着きその先で急坂となる。平坦になったところで砥石谷の分岐があるが、ここは見送り進むと、第十七経塚の天見不動がある。天見不動を拝したら、分岐まで戻り砥石谷への道をたどる。行きに歩いた道路に出たら、天見駅へ。

歩行距離 約16km
歩行時間 5時間10分

体力レベル ☆☆☆
登山レベル ☆☆☆

コースタイム	START	南海高野線天見駅	
		40分	五ツ辻
		50分	葛城第十六経塚
		50分	岩湧山三合目
		40分	行司河原分岐
		40分	岩湧寺
		10分	葛城第十五経塚
		50分	天見駅
		50分	岩湧山三合目
		50分	天見駅



- コース
- サブコース
- 経塚
- 行(国) 行場等(国指定)
- 行(指) 行場等(国指定外)
- 00 番号
- Ⓟ 駐車場
- 卍 寺
- 卍 神社
- △ キャンプ場
- △ トイレ
- Ⓜ 水場
- Ⓜ バス停
- ≡ 滝



モデルコース⑩のルート上にある松原越えから見た岩湧山

コース情報



八幡神社付近から、天見富士の旗尾岳を見上げる



おちばの小道を登り岩湧の森の四季彩館へ



岩湧寺の臥龍洞



ダイヤモンドトレールの五ツ辻。ベンチがある



天見不動はダイヤモンドトレール上にある経塚だ

アクセス



アドバイス

本コースでは3つの経塚をめぐるが、天見不動以外はわかりにくいところにある。岩湧寺からは登山になるので、トレッキングシューズで臨もう。余力があれば、ダイヤモンドトレールをそのまま紀見峠までたどっても面白い。

※歩行距離は水平距離、コースタイムは一般的なペースで歩いた場合の休憩時間を含まない参考タイムです。

※実際の修行程とは異なります。